

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-246614

(43)Date of publication of application : 05.11.1991

(51)Int.Cl.

G06F 3/03

G06F 3/14

(21)Application number : 02-043842

(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing : 23.02.1990

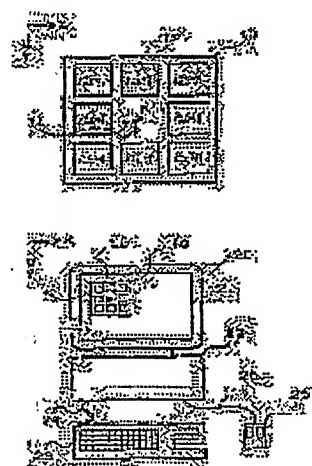
(72)Inventor : OGURA YASUHIRO

## (54) MENU SELECTION SYSTEM

## (57)Abstract

**PURPOSE:** To select a required menu only by moving a position input device back and forth or right and left without gazing at a menu display part by selecting one of menu items arranged so as to surround a point indicated by the position input device displayed on a display device while moving the position input device.

**CONSTITUTION:** A computer system is provided with the position input device 25 and the display device 20 and one of the menu items 12 arranged so as to surround the point P indicated by the device 25 display on the device 20 selected by moving the device 25. Since the menu items 12 are displayed so as to surround the point P indicated by the device 25, the moving distance of the device 25 necessary for selecting each menu item is extremely slight. Thus, a required menu item can be selected while observing the menu area.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-246614

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>G 06 F 3/03  
3/14

識別記号

3 8 0 G  
3 4 0 B

庁内整理番号

7629-5B  
8323-5B

⑭ 公開 平成3年(1991)11月5日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 メニュー選択方式

⑯ 特 願 平2-43842

⑰ 出 願 平2(1990)2月23日

⑱ 発 明 者 小 椋 靖 浩 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式  
会社内⑲ 出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号  
会社

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 示 書

## 1. 発明の名称

メニュー選択方式

## 2. 特許請求の範囲

コンピュータシステムにおいて、位置入力装置と、表示装置を有し、表示装置上に表示された位置入力装置の指し示す点のまわりを取り囲むように配置されたメニューの項目を、位置入力装置を移動させることによって選択することを特徴とするメニュー選択方式。

## 3. 発明の詳細な説明

## [産業上の利用分野]

本発明は、表示装置上に表示された複数のメニュー項目を、位置入力装置を使って選択するコンピュータシステムにおいて、好適なメニュー選択方式に関する。

## [従来の技術]

コンピュータシステムにおいて、マンマシンインターフェースの重要性が見直されて来ているが、その一つ的手段として、視覚的な対話形式の環境を実現する、ポップアップメニューと呼ばれるメニューの選択方式がある。このポップアップメニューを、第4図を例に挙げて説明する。

第4図(a)の11は現在位置入力装置が指し示している点を表わすカーソルである。ポップアップメニューは、カーソル11が指し示す表示装置上の任意の位置Pを起点に、項目がY方向に縦一列に並んだ状態で表示され、次に第4図(b)のようにカーソル11をY方向に移動することによって、目的のメニュー項目を選択する方式である。

## [発明が解決しようとする課題]

しかしながら、ポップアップメニューでは、任意のメニュー項目を選択する場合、第4図の起点PからY方向へ移動したときの移動量が、メニュ

一の各項目に対応しているので、下段のメニュー項目を選びに行くほど位置入力装置をY方向にたくさん動かさねばならなかった。また、Y方向という一方向にのみの移動であるにもかかわらず、各メニュー項目の境界線が近いため、選択する際はメニュー領域を見つめて、望むべきメニュー項目が選択されたかどうかを、常に確認していなければならなかった。

そこで本発明はこのような問題点を解決するもので、その目的とするところは、メニュー項目を表示させたい任意の位置のまわりを取り囲むようにメニュー項目を表示させることによって、メニュー項目選択の際に必要な位置入力装置の移動量を極力小さくし、また位置入力装置の移動方向の違いによってメニュー項目を選択する方式を提供するところにある。

#### 【課題を解決するための手段】

本発明のメニュー選択方式は、コンピュータシステムにおいて、位置入力装置と、表示装置を有

し、表示装置上に表示された位置入力装置の指し示す点のまわりを取り囲むように配置されたメニューの項目を、位置入力装置を移動させることによって選択することを特徴とする。

#### 【作用】

本発明の上記の構成によれば、第1図のように位置入力装置の示す点のまわりにメニュー項目が表示されるため、各メニュー項目を選択する際に必要な、位置入力装置の移動量はごくわずかである。さらに、位置入力装置を移動させる方向がそれぞれのメニュー項目に対応しているため、操作になれてくると、メニューの表示部分を見つめなくても、位置入力装置を前後左右に動かすだけで望むべきメニューを選択することができるようになる。

#### 【実施例】

以下、この発明の一実施例を図に基づいて説明する。

第1図は、本発明の一実施例を示すメニューの表示部分を表わす図である。10は表示装置上に表示されたメニュー領域の表示枠である。11は位置入力装置が現在指し示している位置を表示装置上に示すためのカーソルである。12は起点Pのまわりに配置されたメニュー項目である。第1図(a)は、メニュー枠を表示させた直後の状態である。この状態から、例えばメニュー項目の5番を選びたいときは、第1図(b)のように、カーソル11を"メニュー5"と表示されている枠の中に移動させればよい。

第2図は、本発明の一実施例を示すコンピュータシステムの構成図である。20は表示装置である。21は表示領域を示す枠である。22はコンピュータ本体である。23はキー入力装置である。24はコンピュータ本体とキー入力装置を接続する線である。25は位置入力装置であり、この第2図ではコンピュータシステムの位置入力装置の代表的なものであるマウス(商品名)を例に挙げている。26はコンピュータ本体22と位置入力

装置25を接続する線である。位置入力装置25のX-Y方向の動きは電気的な信号に変換されたあと、コンピュータ本体22に伝送され、信号処理されたあと、カーソル11の動きに反映される。

第3図は、本発明の一実施例を示す階層型のメニューを表示した場合を表わす図である。最初に、表示されたメニュー枠10の中の項目である"メニュー8"を選択して、さらに"メニュー8"の領域を中心として下の階層のメニュー枠30が表示された状態である。つまり、次々に下の階層のメニューが表示されても、新しい項目を選択するときには位置入力装置をわずかに前後左右に動かすだけでよい。

#### 【発明の効果】

以上、説明したように本発明によれば、位置入力装置の示す点を取り囲むようにメニュー項目が表示されるため、各メニュー項目を選択する際に必要な、位置入力装置の移動量はごくわずかである。さらに、位置入力装置を移動させる方向がそ

れぞれのメニューに対応しているため、操作になれてくると、どの方向に望むべきメニューがあるかを覚えておけば、メニューの表示部分を見つめなくても、位置入力装置をわずかに前後左右に動かすだけで容易に選択することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

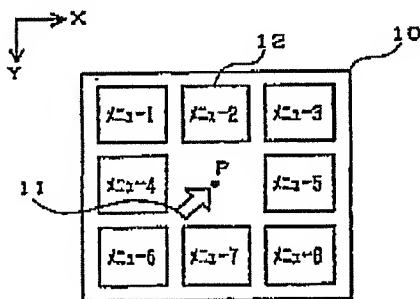
第1図は、本発明の一実施例を示すメニューの表示部分を表わす図。第2図は、本発明の一実施例を示すコンピュータシステムの構成図。第3図は、本発明の一実施例を示す階層型のメニューを表示した場合を表わす図。第4図は、従来のメニュー選択方式である、ポップアップメニューを表わす図。

- 10・・・メニュー枠
- 11・・・カーソル
- 12・・・メニュー項目
- 20・・・表示装置
- 21・・・表示領域

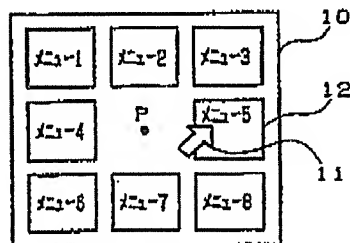
- 22・・・コンピュータ本体
- 23・・・キー入力装置
- 24・・・接続線
- 25・・・位置入力装置
- 26・・・接続線
- 30・・・メニュー枠
- 31・・・メニュー項目
- 40・・・メニュー枠
- 41・・・メニュー項目

以上

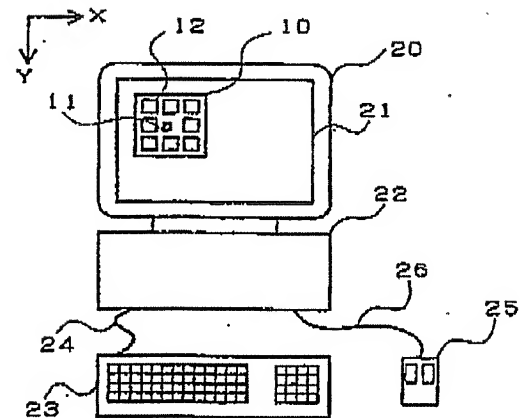
出願人 セイコーエプソン株式会社  
代理人 弁理士 鈴木喜三郎 (他1名)



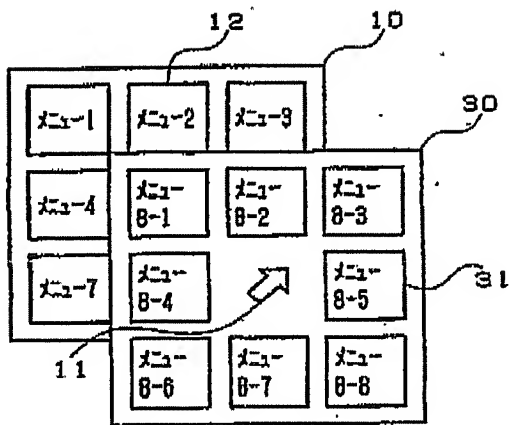
第1図(a)



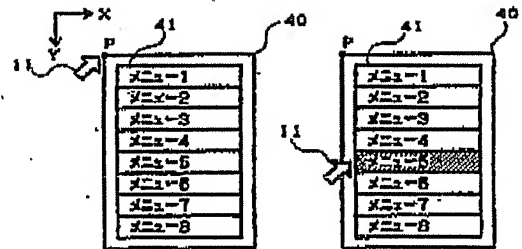
第1図(b)



第2図



第3図



第4図(a)

第4図(b)